

お客様各位

2015年11月吉日

マークテック株式会社

品質保証部



浸透探傷剤の検査証明書の変更についてのお知らせ

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

標題の件ですが、下記の通り J I S Z 2343 に準拠しております弊社浸透探傷剤の J I S 検査証明書の運用を 2001 年版から 2009 年版に変更させて頂くことと致しましたので、ここにお知らせいたします。また、このたびの変更に合わせ、円滑な業務運営を図ることを目的に、従来、J I S 準拠製品で発行しておりました一般成績書、分析成績書についても J I S 検査証明書へ統合をさせていただきます。お客様にはご不便をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 変更事項

1-1. 検査証明書(J I S 準拠製品)の規格運用年度の変更

対応規格: J I S Z 2343-2

従来 2001 年版

変更後 2009 年版

1-2. J I S 準拠製品の一般成績書および分析成績書の廃止、J I S 検査証明書への統合

従来 一般成績書、分析成績書として弊社社内規格に対応した成績書を発行

変更後 一般成績書、分析成績書を廃止、J I S 検査証明書への統合

※分析結果については JIS 検査証明書の硫黄およびハロゲン含有量に表記されます。

2. 変更日

2016 年 1 月以降の生産品より変更

3. 理由

J I S Z 2343-2 は 2009 年 10 月に改正されましたが、探傷剤の分類に於いて J I S Z 2343-1 と整合が取れていない状況でした。しかしながら、2013 年に I S O 3452-2 が改正され、今後、J I S Z 2343 においても探傷剤の分類の整合が図られる見通しとなったため、最新版である 2009 年版への運用に変更することと致しました。変更点は別紙の通りとなります。

なお、現行の検査証明書においてもロット試験は、2001 年版および 2009 年版の双方に対応しております。

以上

別紙 1 JIS 検査証明書変更点比較表

※JIS 分類、規格比較表記は JIS Z 2343-2:2009 の表記へ変更となります。

<浸透液> 分類：変更なし

No	試験項目	2001 年版	2009 年版	成績書変更	
1	外観	○	○	—	変更なし
2	感度	○	○	—	変更なし
3	密度	○	○	—	変更なし
4	粘度	○	○	—	変更なし
5	引火点	○	○	—	変更なし
6	洗浄性	○	○	○	試験項目名称のみ変更。 (水洗性能から洗浄性へ変更)
7	蛍光光度	○	○	—	タイプ I のみ
8	腐食性	○	○	—	*1
9	硫黄及びハロゲン	○	○	○	成績書に単位 ppm 追記
10	水分含有量	×	○	○	項目追加(但し方法 A、及び E)

<除去剤> 分類：2001 年版で方法 C 有機溶剤の製品は、2009 年版では方法 C 有機溶剤(液体)です。

クラス 1 (ハロゲン化)、クラス 2 (非ハロゲン化)に分類されます。

No	試験項目	2001 年版	2009 年版	成績書変更	
1	外観	○	○	—	変更なし
2	感度	○	○	—	変更なし
3	密度	○	○	—	変更なし
4	引火点	○	○	—	変更なし
5	腐食性	○	○	—	*1
6	硫黄及びハロゲン	○	○	○	成績書に単位 ppm 追記
7	蒸発残査	○	○	○	試験項目名称のみ変更。 (蒸発後の残査から蒸発残査へ変更)

<現像剤> 分類：2001 年版でフォーム d の製品は 2009 年版ではフォーム d (蛍光)及び e (染色)に分類されます。

No	試験項目	2001 年版	2009 年版	成績書変更	
1	外観	○	○	—	変更なし
2	感度	×	○	○	従来より自社管理として実施
3	引火点	○	○	—	変更なし
4	腐食性	○	○	—	*1
5	硫黄及びハロゲン	○	○	○	成績書に単位 ppm 追記
6	固形分	○	○	—	変更なし
7	現像剤の性能	○	○	—	変更なし
8	再分散性	○	○	—	変更なし
9	密度	○	○	○	試験項目名称が液の密度から密度へ変更。 速乾式(フォーム d、フォーム e が対象)

*1：腐食性試験について（ロット試験）

2001 年版において、7075-T6 アルミニウム合金、AZ-31B マグネシウム合金、30CrMo4 鋼の 3 材質の試験片について試験が要求されておりましたが、2009 年は AZ-31B マグネシウム合金のみの要求に変更されております。なお、形式試験についての変更はなく、2009 年度版においても上記 3 種の試験片にて金属の腐食の確認を実施しております。

別紙 2

各製品ごとの発行可能な成績書の種類は下表の通りとなります。

JIS 対応の探傷剤は JIS 検査証明書 (和文・英文) および ASME 分析成績書 (英文) の 2 種類になります。

浸透液		
製品名称	JIS Z 2343:2009 (和文・英文)	ASME 分析成績書 (英文のみ)
スーパーチェック染色浸透液 UP-ST スーパーチェック染色浸透液 UP-ST (J)	○	—
スーパーチェック染色浸透液 UP-T スーパーチェック染色浸透液 UP-T (J)	○	○
スーパーチェック染色浸透液 UP-GⅢ	○	—
スーパーチェック染色浸透液 UP-GⅢ・T スーパーチェック染色浸透液 UP-GⅢ・T (J)	○	○
スーパーチェック染色浸透液 UP-NU・G スーパーチェック染色浸透液 UP-NU・G (J)	○	—
スーパーチェック染色浸透液 UP-ST エアゾール 450 型	○	—
スーパーチェック染色浸透液 UP-T エアゾール 450 型 スーパーチェック染色浸透液 UP-T (J) エアゾール 450 型	○	○
スーパーチェック染色浸透液 UP-GⅢ・T エアゾール 450 型 スーパーチェック染色浸透液 UP-GⅢ・T (J) エアゾール 450 型	○	○
エコチェック染色浸透液 EP-ST エコチェック染色浸透液 EP-ST (J)	○	—
エコチェック染色浸透液 EP-T エコチェック染色浸透液 EP-T (J)	○	○
エコチェック染色浸透液 EP-ST エアゾール 450 型 エコチェック染色浸透液 EP-ST JUMBO エアゾール 600 型 エコチェック染色浸透液 EP-ST (J) エアゾール 450 型 エコチェック染色浸透液 EP-ST (J) JUMBO エアゾール 600 型	○	—
エコチェック染色浸透液 EP-T エアゾール 450 型 エコチェック染色浸透液 EP-T (J) エアゾール 450 型	○	○
スーパーグロー蛍光浸透液 OD-2800T	○	○

洗浄剤／除去剤		
製品名称	JIS Z 2343:2009 (和文・英文)	ASME 分析成績書 (英文のみ)
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－ST	○	－
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－T	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－T・M	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 AS－T	○	○
エコチェック洗浄剤／除去剤 ER－ST	○	－
エコチェック洗浄剤／除去剤 ER－T	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－NU・G	○	－
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－ST エアゾール450型	○	－
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－T エアゾール450型	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－T・M エアゾール450型	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 AS－T エアゾール450型	○	○
スーパーチェック洗浄剤／除去剤 UR－NU・G エアゾール450型	○	－
エコチェック洗浄剤／除去剤 ER－ST エアゾール450型	○	－
エコチェック洗浄剤／除去剤 ER－T エアゾール450型	○	○

現像剤		
製品名称	JIS Z 2343:2009 (和文・英文)	ASME 分析成績書 (英文のみ)
スーパーチェック現像剤 UD－T	○	○
エコチェック現像剤 ED－ST	○	－
エコチェック現像剤 ED－T	○	○
スーパーチェック現像剤 UD－NU・G	○	－
スーパーチェック現像剤 UD－ST・V	○	－
スーパーチェック現像剤 UD－ST	○	－
スーパーチェック現像剤 UD－ST エアゾール450型	○	－
スーパーチェック現像剤 UD－T エアゾール450型	○	○
スーパーチェック現像剤 UD－ST・V エアゾール450型	○	－
スーパーチェック現像剤 UD－T・V エアゾール450型	○	○
スーパーチェック現像剤 UD－NU・G エアゾール450型	○	－
エコチェック現像剤 ED－ST エアゾール450型	○	－
エコチェック現像剤 ED－T エアゾール450型	○	○
エコチェック現像剤 ED－T・V エアゾール450型	○	○

JIS查証明書変更箇所について(染色浸透液)

変更前(2015年12月末まで)

染色浸透液検査証明書

品 名	スーパーチェック 浸透液 UP-T(J) Lot番号: 14G2502
-----	--

A	JIS 分類	タイプⅡ 染色浸透液 感度レベル2	方法C 有機溶剤 低ハロゲン、低硫黄
	試験項目	判定基準	結果
	外 観	標準品と同等であること。	合格
	感 度	タイプ1対比試験片30 μ m75%以上、50 μ m100%であること。	合格
	密 度	0.82~0.86の範囲以内であること。	0.84
	粘 度	38℃で測定し、2.61~3.19 mm ² /s(cst)の範囲以内であること。	2.79
	引 火 点	80℃以上であること。	98.0
⑥	水洗性能	非該当	非該当
	腐 食 性	試験片に変色、孔蝕又は腐食を生じないこと。	合格
⑨	硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。 (ただし、社内管理基準は、硫黄10ppm以下、塩素100ppm以下、ふっ素30ppm以下とする)	全硫黄 2 全ハロゲン 12

B 表記の製品はJIS Z 2343-2 (ISO 3452-2準拠) に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。

2016年01月以降発行

染色浸透液検査証明書

品 名	スーパーチェック染色浸透液 UP-T(J) Lot番号: SAMPLE
-----	--

A	JIS 分類	タイプⅡ 染色浸透液 感度レベル2	低ハロゲン、低硫黄用探傷剤
	試験項目	判定基準	結果
	外 観	標準品と同等であること。	合格
	感 度	タイプ1対比試験片30 μ m75%以上、50 μ m100%であること。	合格
	密 度	0.82~0.86の範囲以内であること。	0.83
	粘 度	38℃で測定し、2.61~3.19 mm ² /s(cst)の範囲以内であること。	2.98
	引 火 点	83℃以上であること。	85
⑥	洗 浄 性	非該当	非該当
	腐 食 性	試験片に変色、孔食またはその他の腐食を生じないこと。	合格
⑩	水分含有量	非該当	非該当
⑨	硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。	全硫黄 2 ppm 全ハロゲン 6 ppm

B 表記の製品はJIS Z 2343-2:2009(ISO 3452-2準拠)に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。

比較表No	試験項目	対応	説明
⑥	洗浄性	変更	試験項目を『水洗性能』から『洗浄性』へ変更。
⑨	硫黄及びハロゲン	変更	硫黄およびハロゲン含有量が非該当の場合結果に『非該当』と明記 社内基準値に関する記述は削除(管理は継続),単位を追記(ppm)
⑩	水分含有量	追加	水分含有量の試験項目を追加

○共通変更事項

	項目	対応	説明
A	JIS 分類	変更	JIS分類についてJISの表現に統一
B	規格表記	変更	規格の年号を追記。『JIS Z 2343-2』⇒『JIS Z 2343-2:2009』

JIS査証明書変更箇所について(除去剤)

変更前(2015年12月末まで)

2016年01月以降発行

除去剤検査証明書			
品 名	スーパーチェック 洗浄液 UR-T Lot番号 14L0431		
A J I S 分 類	方法C 有機溶剤 低ハロゲン、低硫黄		
試験項目	判 定 基 準	結 果	
外 観	標準除去剤と同等であること。	合格	
感 度	タイプ1対比試験片30 μm75%以上、50 μm100%であること。	合格	
密 度	0.67~0.71の範囲内であること。	0.688	
粘 度	非該当	非該当	
引 火 点	非該当	非該当	
水分許容性	非該当	非該当	
腐 食 性	試験片に変色、孔蝕または腐食を生じないこと。	合格	
⑦ 蒸発後の残渣	5mg未満のこと	合格	
⑥ 浸透液含有量	非該当	非該当	
⑥ 硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。 (ただし、社内管理基準は、硫黄10ppm以下、塩素100ppm以下、ふっ素30ppm以下とする)	全硫黄 2 全ハロゲン 6	
B	表記の製品はJIS Z 2343-2(ISO 3452-2準拠)に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。		

除去剤検査証明書			
品 名	スーパーチェック洗浄剤/除去剤 UR-T Lot番号 SAMPLE		
A J I S 分 類	方法C 有機溶剤(液体) クラス2(非ハロゲン化) 低ハロゲン、低硫黄用揮発剤		
試験項目	判 定 基 準	結 果	
外 観	標準品と同等であること。	合格	
感 度	タイプ1対比試験片30 μm75%以上、50 μm100%であること。	合格	
密 度	0.67~0.71の範囲内であること。	0.699	
引 火 点	非該当	非該当	
腐 食 性	試験片に変色、孔蝕またはその他の腐食を生じないこと。	合格	
⑦ 蒸 発 残 渣	5mg未満のこと	合格	
⑥ 硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。	全硫黄 2 ppm 全ハロゲン 6 ppm	
B	表記の製品は JIS Z 2343-2:2009(ISO 3452-2準拠)に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。		

比較表No	試験項目	対応	説明
⑦	蒸発残渣	変更	試験項目を『蒸発後の残渣』から『蒸発残渣』へ変更。
⑥	硫黄及びハロゲン	変更	硫黄およびハロゲン含有量が非該当の場合結果に『非該当』と明記 社内基準値に関する記述は削除(管理は継続),単位を追記(ppm)

○共通変更事項

	項目	対応	説明
A	JIS 分類	変更	JIS分類についてJISの表現に統一
B	規格表記	変更	規格の年号を追記。『JIS Z 2343-2』⇒『JIS Z 2343-2:2009』

JIS査証明書変更箇所について(現像剤)

変更前(2015年12月末まで)

2016年01月以降発行

現像剤検査証明書

品 名	スーパーチェック 現像剤 UD-T Lot番号: 14G1043
-----	-------------------------------------

A	JIS 分類	フォームd 感度レベル2	低ハロゲン、低硫黄
	試験項目	判定基準	結果
	外 観	標準品と同等であること。	合格
	引 火 点	非該当	非該当
	腐 食 性	試験片に変色、孔蝕又は腐食を生じないこと。	合格
	固 形 分	蒸発残渣は10～12%のこと。	10.9
	現像剤の性能	塗膜は均一で、蛍光を発しないこと。	合格
	再 分 散 性	攪拌することにより現像剤粉末は容易に分散すること。	合格
	比 重	0.79～0.83の範囲以内であること。	0.814
⑤	硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。 (ただし、社内管理基準は、硫黄10ppm以下、塩素100ppm以下、ふっ素30ppm以下とする)	全硫黄 2 全ハロゲン 6

B 表記の製品はJIS Z 2343-2 (ISO 3452-2準拠) に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。

現像剤検査証明書

品 名	スーパーチェック現像剤 UD-T Lot番号: SAMPLE
-----	-----------------------------------

A	JIS 分類	フォーム d & e(有機溶剤ベース)	低ハロゲン、低硫黄用探傷剤 (タイプ I、II 連続式用)
	試験項目	判定基準	結果
	外 観	標準品と同等であること。	合格
②	感 度	タイプ1対比試験片30μm75%以上、50μm100%であること。	合格
	引 火 点	非該当	非該当
	腐 食 性	試験片に変色、孔食またはその他の腐食を生じないこと。	合格
	固 形 分	蒸発残渣は8.2～10.0%のこと。	9.1
	現像剤の性能	塗膜は均一で、蛍光を発しないこと。	合格
	再 分 散 性	攪拌することにより現像剤粉末は容易に分散すること。	合格
⑨	密 度	0.79～0.83の範囲以内であること。	0.81
⑤	硫黄及びハロゲン含有量	全硫黄は200ppm未満、全ハロゲン(塩化物、ふっ化物)は200ppm未満のこと。	全硫黄 2 ppm 全ハロゲン 6 ppm

B 表記の製品は JIS Z 2343-2:2009 (ISO 3452-2準拠) に規定するロット試験の要求事項に適合していることを証明いたします。

比較表No	試験項目	対応	説明
②	感度	変更	感度試験追加 (成績書に記載していなかったが従来より社内基準で実施)
⑤	硫黄及びハロゲン	変更	硫黄およびハロゲン含有量が非該当の場合結果に『非該当』と明記 社内基準値に関する記述は削除(管理は継続),単位を追記(ppm)
⑨	密度	変更	『比重』および『液の密度』から『密度』へ変更

○共通変更事項

	項目	対応	説明
A	JIS 分類	変更	JIS分類についてJISの表現に統一
B	規格表記	変更	規格の年号を追記。『JIS Z 2343-2』⇒『JIS Z 2343-2:2009』